

スポーツイベント論

保健体育・堺 賢治

1. 授業の目的

スポーツイベントは何かについて概説し、実際にスポーツイベントを企画し、実践する。この中で現在の学生に欠けている「企画力」や「実践力」を身につけさせようとした。

2. 授業の概要

フットサル大会を開催し、愛媛FC試合観戦をする。

日時：9月20日（土）10時～21時

場所：愛媛県総合運動公園体育館

ニンジニアスタジアム

主催：愛媛大学総合型地域スポーツクラブ

共催：愛媛FC

後援：愛媛県プロスポーツ協議会

愛媛新聞社

3. 役割

総務・副総務：3名

タイム・スケジュールの作成

当日のタイム・テーブルの作成

全体の総括

企画：6名

企画の決定

企画の役割分担

演出

広報：4名

どうして人を集めるのか

PRの方法

ポスターの作成

渉外：3名

金集め

後援

財務：2名

予算案の作成

予算の管理

4. 愛媛新聞社の記事

若い人に愛媛FCの試合に足を運んでもらおうと、愛媛大学総合型地域スポーツ

クラブが20日、愛媛県総合運動公園で「朝から晩までフットボール祭り」を開いた。男女の大学生ら140人がフットサルで汗を流し、ホームゲームでエールを送った。

同クラブの理念であるチャンピオンシップスポーツ（地元のトップチーム）をサポートする」に基づいて、愛媛大学教育学部で保健体育を専攻する学生18人が初めて企画、運営した。

体育館であったフットサルには10チームが参加。選手は「逆サイド」など声を掛け合いながら懸命にプレーしていた。

午後7時から甲府戦を観戦。初めてスタジアムで観戦したAさん（21）＝松山大学＝は「選手が目の前でぶつかり合い、テレビとは臨場感が違った」と満足した様子。

実行委員長のBさん（20）＝愛媛大学3年＝は「参加チーム集めに苦労したが、いい経験になった。今後もこのような活動を続けていきたい」と話していた。

5. 学生の評価

(1) 自分の役割と何をしたのか

実行委員長として全員を統括しイベント論が上手くいくように仕事を各部に与えその監視等をした。自らチーム集めや広告等様々なことに力を使った。

PLAN当初は財務リーダーだったので、授業の他にも各役割のリーダーだけの話し合いにも毎回参加しイベント運営を行っていた。9月に入り、実行委員長になり、本格的にイベント運営に力を注いだ。当日までの流れ、当日の流れ、ボランティア名簿の作成、人集めなどを行った。

企画チーム、イベント当日の企画、立て看板の横断幕作り、愛媛大学総合型地域スポーツクラブPRのチラシ作り、愛媛FC試合観戦者名簿、ボランティア名簿、当日受付。

広報のリーダーでした。申込用紙の作成

やポスターの配布など。参加者が増えるように取り組んだ。

(2) 何に一番苦労したか

チーム集めと各担当者が仕事をしているか、またしていない場合にそれをうながすことが大変だった。またチーム数が足りない時トーナメントをどうするかなど、最後まで気が抜けなかった。

「人を動かす」ということです。人を動かすためには、まず自分がそのイベントを理解し、当日までの流れ全てを頭に入れ、適切な役割を設置し、指示を与えなければなりません。しかし、自分はいま「人を使う」ということができず、イベントを具体的に想像し、計画を練ることに苦労し、一人で全てをやろうとしてしまったり、そのたびに、先生に適切なアドバイスをいただき「なるほど」とおもうことが沢山ありました。

愛媛大学総合型地域スポーツクラブのチラシ。白黒印刷だったので、色がなくてももらった人が最期まで読みたくなるように絵を入れたり、文字の大きさや配置を考えたりすることや、情報を選んで絶対に伝えておきたいことと、あまり必要でないものに分けるところに苦労した。無事 3,000 人に配ることができたので、少しでも多くの人に愛媛大学総合型地域スポーツクラブの名前を知ってもらえたのではないかと思います。

申込用紙の作成はとっても大変だった。また、ポスターをはらせてもらうための交渉などとても勉強になった。

(3) イベントの改善点は何か

個人の仕事の量が違いすぎる。全員の意思統一が出来ていなかった。具体例がわかりにくく動きにくかった。

他回生にも、スポーツイベント論で行うスポーツイベントについてもっと深く知ってもらう必要があります。このスポーツイベントには、体研ボランティアの力が必要となります。故に、イベントについて理解してもらえていたら、これからイベントを行う回生に取ってはボランティア集めが少しは楽になると思います。

夏休み中と言うこともあって、みんなで

話し合う時間がなかなか取れず、特定の人への負担が大きくなってしまっていた気がする。難しいかも知れないけれど、週 1 ではなく、もっと話し合いの機会を多くすればみんなですっきりと共通理解できたのではないかと。しかし、強制的に集まるのではなく、自分たちで自主的に集まって相談する積極性があればこんなことは問題にはならなかったのではないかと反省している。

当日だけではなく準備の段階から全員が仕事を持つべきだと思う。

今回は、フットサル大会ということで、参加チームもちょうど良くスムーズにイベントを進めることが出来た。準備も片付けも思ったよりも早く進めることが出来た。砥部という少し離れたところでも参加者たちが車などで乗り合わせてきてくれたのでよかったと思う。やはり早めの準備が必要だと思った。また、今回のイベントでは、フットサル大会を行っただけで、愛媛 FC の選手についてはあまり知ることが出来なかった。私たちもサポーターと一緒にあって応援するくらいの勢いがあればもっとイベントが盛り上がったのではないかと思います。来年のイベントはまた違った内容になるかも知れないが、たくさんの人を引きつけるようなイベントづくりが大切だと思う。

6. おわりに

(1) 愛媛 FC の試合に若者が観戦することと愛媛大学総合型地域スポーツクラブの PR を目的に企画されたイベントは、問題点は多くあったがなんとか成功させることが出来た。

(2) イベントの取り組みに学生たちの温度差があったようだが、この問題は次年度は学生に解決させようと思っている。

(3) 講義とは違って、フィールドでイベントを企画することは、学生に取って何かを得られたのではないかとと思われる。